



星野 佳介さん

(ちばテク市原校自動車整備科 令和元年度修了 トヨタカローラ千葉(株)勤務)

私は現在入社して3年目で主に車検や定期点検などの作業をしています。また、他にも整備作業の受付や整備完了後の車両の引き渡し等の接客業務も行っています。

専門学校で学んだことで役立っているのは、まず一つ目として工具の取扱い方です。工具の使用方法が間違っていると部品を壊してしまったり、自分が怪我をしてしまうからです。二つ目は修理書や電気回路図の見方です。これが出来ないとスムーズな作業をすることが出来ません。



これから知識をもっと身につけていき、故障の判断や部品の説明が出来るようになり、お客様に寄り添ったサービスが出来るようにしていきたいです。そのためにもトヨタサービススタッフの上位資格である、トヨタサービス技術検定1級を取れるように努力していきます。



奥田 雅幹さん

(ちばテク船橋校冷凍空調設備科 平成25年度修了 中野冷機(株)勤務)

私が勤めている中野冷機株式会社は、冷凍冷蔵設備機器の専門メーカーです。私はメンテナンス職としてショーケースや冷凍冷蔵庫、冷凍機の保守管理を行っています。スーパーマーケットやコンビニエンスストアなどの冷蔵冷凍設備は多くの方々の食に関係する仕事なので、とてもやりがいのある仕事だと誇りをもって作業しています。



私は中野冷機に入社する為にまずは基礎から勉強したいと考えていたところ、高校時代の先生の紹介もあり船橋高等技術専門学校に入学しました。専門学校にて冷凍サイクルや、冷凍冷蔵設備で使用する工具の使用方法などの基礎を学んだので、先輩の指導をスムーズに理解できたり、電気工事を学んだことで電気配線図を読み取ることができたりと、専門学校で学んだ多くのことを仕事に生かすことができていると実感しています。専門学校は、基礎から実践を学ぶことができ、集中して勉強できる環境があることが魅力に思います。



江澤 潤さん

(ちばテク我孫子校造園科 平成18年度修了 千葉造園土木(株)勤務)

造園業に携わり、日々青空の元で自然を相手にお仕事をしております。樹木の剪定・刈込・草刈り、その他緑化事業に関わるに連れて、その奥深さと楽しさを実感しています。初めは、樹の特性はおろか、名前すら分かりませんでしたが、徐々に覚え今では大体の樹名と特性を理解し作業をしております。



ちばテクで習得する技法は、即実践・現場で使います。大変良い教訓となり、己の糧になります。訓練中でも、己の向上心次第でたくさんの事を身につける事ができるでしょう。

造園工事は、創作物であり、継続的に作品が残る物でもあります。自分が作った公園の、四季を感じながら過ごすのは、この上ない喜びです。古からの伝統技法の継承と、己の技術力の向上を今後も養っていきたいです。

「若き力が欲しい！」が、20年近く経験してきて今切実に思う事です。共に造園業界で頑張りましょう。